



Sabae Rotary Club

R | 第2650地区 2019-2020年度 鯖江ロータリークラブ

2019-20年度 国際ロータリーテーマ

2019-20年度 第2650地区スローガン

ロータリーは
世界をつなぐ



伝統と革新
世界はひとつ



鯖江ロータリークラブ会長方針

心で繋がろう

会長 清水 康弘

第2930回
2/28(金)

2月第4例会

点鐘:12:30

テーマ 「県民衛星プロジェクト」
県 新産業創出課
卓話 牧野 一郎 様

第2931回
3/6(金)

3月第1例会

点鐘:12:30

テーマ 「経営者保険のトレンドと人的リスクの考え方」
大同生命保険株式会社 福井支社 第一営業課長
卓話 松原 剛志 様

第2932回
3/13(金)

3月第2例会

点鐘:12:30

テーマ 「鯖江36連隊」
バスステーション オーナー
卓話 田中 良幸 様

2/28(金)

第2930回
例会報告

注:例会場は3月13日まで4階大ホール

鯖江商工会議所 4階大ホール

4つのテスト

出席率50.0%

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘
四 つ の テ ス ト
ロ - タ リ - ソ ン グ
会 長 の 時 間
幹 事 報 告 等
プ ロ グ ラ ム
閉 会 点 鐘

来 賓 接 拶



鯖江こころの電話

副会長: 島山是信 様

日頃から、鯖江こころの電話の活動に対し、格別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。お蔭様をもちまして、毎年900件を超える電話相談を受けています。しかしながら、ボランティア活動も非常に難しくなり、とうとう福井・武生の電話相談は無くなり、県内では当団体のみとなってしまいました。皆様方のご協力を得まして、昨年の自殺防止の研修会には、鯖江RCの皆様にご参加いただき、大変感謝申し上げます。

木村昌弘

ガバナー補佐代行

小林和美ガバナー補佐が事故に遭われた為、復

歸されるまで代行いたします。小林補佐の任期は次年度も引き続きとなり、私は復歸されるまでクラブと地区の間をつなぐ役目をいたします。

また、コロナウイルスで自粛ムードとなり、県内クラブでも例会を取りやめるクラブも出ております。的確な状況判断で対応いただきたいと思っております。地区では地区大会等は前向きに開催予定でおります。その内大懇親会等については、検討課題としてまいります。

幹 事 報 告



酒井 雅憲 幹事

ウイルス感染対策として、3月13日の夜間例会で外国人労働者等を招いての交流会を企画していましたが、この時期開催するのはどうかとの意見もあり、持ち回り理事会にて承認されましたので、13日は通常のお昼の例会に変更いたします。

ロータリーソング



「我等の生業」

岩尾 顕治
ソング委員長

来 賓 紹 介



県産業労働部新産業創出課 小林和美ガバナー補佐代行
主任 牧野 一郎 様 木村昌弘前ガバナー補佐

鯖江こころの電話
副会長: 島山是信 様
会 計: 内藤雅子 様

ポールハリスフェロー



岩尾 顕治 会員
岡本 圭子 会員
増永 英彦 会員

米 山 功 勞 賞



5回目 梅田 吉臣 会員
12回目 齋藤 多久馬 会員

1回目 馬場 一彦 会員
野呂 和夫 会員
帰山 明朗 会員
3回目 大島 恒彦 会員

福井県内RC例会日

無印:12:30-開始

K :18:30-開始

L :19:00-開始

月曜日	福井東RC(AOSSA)	若狭RC(わか狭やまね・7-12月おせきみ屋)	木曜日	福井RC(ユアーズホテル福井)	金曜日	福井あじさいRC(新緑パ・ジュガワ)
火曜日	福井南RC(福井織協ビル)	水曜日	福井北RC(サ・ガラアズ・アカ)			福井西RC(バ・ド・グリーン・アカ)
K	福井パニオスRC(サ・ガラアズ・アカ)	K	丸岡RC(丸岡城のまちコミュニティ)			三国RC(三国観光ホテル)
	勝山RC(勝山市民活動センター)		大野RC(大野商工会議所会館)			
	武生RC(武生商工会館)		敦賀RC(福井銀行敦賀支店)			

県 新産業創出課

卓話

牧野 一郎 様

テーマ

「県民衛星プロジェクト」



宇宙産業は年々市場が拡大しております。現在、本県で進めている「県民衛星プロジェクト」についてご説明いたします。

◆県民衛星プロジェクトの目的

人口減少や高齢化が進む中、県民の豊かな生活の維持、県内企業の活力向上のために、繊維、眼鏡に次ぐ新産業として「宇宙産業」に着目し、本県の産業指針となる「福井経済新戦略」に盛り込まれ、平成27年にスタートしました。

県民衛星プロジェクトは超小型人工衛星の開発・製造や衛星データの利活用を通じ、衛星製造の受注や利活用ソフトウェア販売などのビジネスにつなげていくことを目指しています。

◆超小型人工衛星の試験設備の整備

県では、県内企業が衛星製造に取り組みやすい環境を整備しました。

①電波暗室

衛星が正常に通信できるか確認するためのもの

②振動試験機

ロケットでの打上げ時の振動に衛星が耐えられるか確認するためのもの

③熱真空試験機

宇宙空間の過酷な環境(温度、真空)でも衛星が正常に稼働するか確認するためのもの

◆ふくい宇宙産業創出研究会

県内企業の宇宙産業への参入を図るため、平成27年9月に「ふくい宇宙産業創出研究会」(設立時:21企業、現在:56企業)を設立し、宇宙産業に係る調査、情報発信、超小型人工衛星に関する共同研究等を実施して

います。

また、県内企業等のエンジニアを東京大学宇宙工学専攻の中須賀教授の研究室に派遣し、超小型人工衛星の設計・製造に関する研修を受けました。

技術力を蓄えた県内企業は、今では東京大学との新規衛星開発を共同で行うまでになっています。

これまでに超小型(10cm×10cm×30cm)のルワンダ共和国向け衛星、水推進エンジン搭載の実証衛星、東京オリンピック向けガンダム衛星の衛星基幹部分を県内企業が開発・製造しています。

◆福井県民衛星技術研究組合

県内企業を中心とした製造系・システム系計11社と県で福井県民衛星技術研究組合を平成28年8月に設立し、県民衛星の製造と、衛星データを利活用するソフトウェア開発に取り組んでいます。

◆県民衛星「すいせん」

県民衛星「すいせん」は、宇宙空間から2.5mの分解能で地上を撮影する衛星です。1基では同一箇所を約2週間に1度撮影することができ、この衛星データを森林管理や河川の中州の監視などに活用することを検討しています。

「すいせん」は令和2年4月～9月に打ち上がる予定です。

◆ふくいを宇宙産業の国内拠点に

今後は、超小型人工衛星の生産拡大や管理・運用のビジネス化、宇宙産業の人材の集積、国内外の市場開拓を通じ、福井が宇宙産業の国内拠点となるよう取り組んでいきます。



会長の時間



清水 康弘 会長

靴を脱ぐのは日本だけ？
玄関の歴史としつらえ
フリーライター 上江洲規子
(かみうえしゅうのりこ)

世界共通ではない靴を脱ぐ文化、日本では玄関で靴を脱ぐのが決まり。しかしなぜ、日本では玄関で靴を脱ぐのだろうか。

中国は、日本にとって遣唐使や遣隋使を遣わすなどして、数多くの文化を学んだ国だが、必ず靴を脱ぐわけではない。都市部では、家に入る際に靴をスリッパに履き替える家庭も増えてきているというが、基本的には家の中でも土足だ。アジアには屋内では裸足で過ごす国も少なくはないので、日本独自のものとは言えないが、家に入る際に靴を脱ぐ文化は中国から輸入されたものではなく、日本人の思想や風習によるものと考えて良いだろう。ではそれは、いつごろから始まったのだろうか。

日本人の住居は横穴式住居から竪穴式住居へそして、高床式住居へと変遷する。高床式の建物は風通しがよく、当初は倉庫として利用された。そこに人々が暮らすようになったのは、敷物や畳など床に敷くものができてからだとも言われる。平安時代の絵巻物を見ると、貴族たちは床のある家に住んでおり、履物は脱いで暮らしているようだからこの時代には、既に家で靴を脱ぐ習慣が生まれていたのだろう。日本は高温多湿な気候のため、緑の

下を作らねば床が湿気てしまうから、必然的に外と家の中には段差ができる。この段差ゆえに「家上がる」という表現もされるのだ。この「上がる」こそが、靴を脱ぐ理由の一つでもあろう。家の中は一段高く、大切な場所だと考えられた。そこに「上げ」て、招き入れられるのは特別な人だけであるし、大切な場所に土足で入るのは失礼にあたるのだ。しかし、扉を開ければすぐに屋内というわけではない。ほとんどの家の玄関は、土足で入ってもいい「たたき」と、家の中に入る段差部分にあたる「上がり框(かまち)」があるはずだ。欧米の家屋にも床はあるが、外との段差がなく、玄関から入れやすく家の中で、屋内外を分けるものは扉一枚だけだ。一方、日本家屋は外と屋内の間にたたきと上がり框が存在し、結界の役割を果たしているとも考えられている。地面に触れないかかとの部分に触れるのも避けるのは、靴は汚れたものだという意識があるからだろう。汚れているからこそ、結界の外に置いておかなければならないのだ。

日本人が家の中で靴を脱ぐのは、足が蒸れるのを防ぐためだとも言われる。肌が蒸れると皮膚病にかかりやすいし、においがすることもあって、高温多湿の国ではなるべく通気をよくする方が良いのだ。しかし、他人の家やお寺などに上がる際には、裸足やストッキングのままではなく、靴下を履く心遣いをもっておきたい。気づいていない皮膚病や足についた汗が床につくこともないからだ。また、床に座り、直接布団を敷く日本の文化も、靴

を脱ぐ習慣に深くかかわっているだろう。そのためか、土足で家に入る国は、大抵の場合、椅子やベッドの文化だ。くわえて、足も隠すべき体の一部と考え、人前で裸足になるのは失礼にあたると思う国もある。たとえばドイツでは、人前で靴を脱ぐのはマナー違反だから気をつけよう。

靴で過ごすことが当たり前になっているアメリカでも近頃、高級木材を使用した家では家を長持ちさせるため、靴を脱ぐ家が増えているようです。日本やアジアの影響を受け、掃除しやすい、衛生的ということで靴を脱ぐようになったという意見も。

そういえばホテルでは靴を脱ぐスペースがあるだけで廊下と客室はフラットになっていますが和風旅館は屋内なのに客室に玄関があり客間は一段高くなっていて、畳の上に座ると落ち着くのは私だけでしょうか？

にこにこBOX報告

木村 昌弘 ガバナー補佐代行

小林和美G補佐が復帰までの当分の間、代理を務めさせていただきます。地区関係のご質問やご要望があり

吉田 俊博 会員 牧野様の卓話をたのしみに

窪田 健一 会員 //

西尾 俊一 会員 //

野中 敏昭 会員 //

大橋 良史 会員 //

梅田 吉臣 会員 //

齋藤多久馬 会員 //

孝久 治宏 会員 勝手ながら早退します

